

蕨 8

広報WARABI

2007/平成19年

わらび・668

- 平成19年 8月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 7月1日現在人口：70,967人 前月比 -26人
男 36,303人 女 34,664人
世帯数：34,228
人口密度：13,915人／km²



セミを探す子どもたち

セミの鳴く声に誘われて 夏休み楽しむ子どもたち

いよいよ夏も本番です。ここ、塚越地区留守家庭児童指導室に隣接している塚越公園でも、毎日セミが「ジージー」と鳴いています。子どもたちも、早速、網と虫かごを持って、公園に集まって来ました。やっぱりみんな、自然のなかで遊ぶことが大好きなようです。

目次

- 平和特集①作文紹介……………2
- 平和特集②平和の催し……………4
- 情報ダイヤル……………4
- ほっと・エッセイ……………5
- 放課後子ども教室……………6
- まちの話題……………7
- わが家のアイドル……………7
- 輝いていま ひと……………8
- 小さな旅……………8

蕨市平和都市宣言

昭和20年8月、広島、長崎に人類初の原子爆弾が投下され、早くも40年の歳月が流れました。

その間、唯一の被爆国である我が国は、恒久平和を崇高な理念として憲法に掲げ、自由と正義を愛し、世界平和に寄与してきました。

しかるに今、世界の超大国を中心とした核保有国が競って核軍備拡充を図っていることは、まことに脅威であり、この核軍拡競争に対して、世界のいたるところで、平和希求の叫びがとみに高まりつつあります。

このような国際情勢の中で、戦争は人間が起こすものであり、また人間の力によってこれを防ぐことができることをしっかりと心に刻み、平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが、現代に生きる我々の責務であると考えます。

私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、非核三原則が厳守されることを強く希望し、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります。

蕨市は、市民の平和を願う心を結集し、ここに「平和都市」であることを宣言いたします。

昭和60年9月9日

蕨 市

平和特集①

市民の作文紹介

すべての人に平和への思い伝えたい

終戦から62回目の夏を迎えました。市では世界から核兵器の廃絶と恒久平和を願う市民の心を結集して、昭和60年に「平和都市宣言（左囲み）をしました。しかし、今でも世界の各地で戦争やテロ行為が後を絶たず、罪のない人々の尊い命が奪われています。これは私たちにとって、非常に残念なことであり、心の痛む問題です。今月は、平和特集としてもう一度平和のたいせつさを皆さんといっしょに考えてみよう、と、市民から寄せられた平和作文をご紹介します。



かねこ 美津子さん
金 子 美 津 子 さん
錦町2丁目・83歳

戦時下での夫婦生活

戦時下にあった昭和19年に結婚をした私にとって、新婚旅行は夢のまた夢でした。

衣類や布団を買おうにも、政府の発行した衣料切符がなければ手に入れることができず、質素な新婚生活の幕開けであつたと記憶しています。

みそや塩、米などの食料も配給で、1人何グラムと決められていましたから、思うような食事を作つてあげることもできません。塩で味付けをしただけの煮カボチャや、具もほとんど入っていないうどんなどでも、当時では、なかなか口にするのができなかった。たので、喜ばれたものでした。

日常生活では、常に戦争を意識しなければならず、空爆に備えて、火を消すための訓練を行ったり、家の前に大きな水がめを用意したりする。ことは当たり前でした。いつな

んとき、戦火が自分たちに向けられても、被害を最小限にとどめられるようにと、いつも考えていたものです。

そうした生活を送るなか、私たちの住む蕨にも、いよいよ空爆が襲いかかりました。結婚した年の暮れのことです。

アメリカ軍のB29爆撃機が、上空を飛来していると聞き、私たちは近隣の人たちと裏庭に造つた防空壕（こうごう）に逃げ込みました。5人くらいしか入れないほどの狭く暗い土の中で、私たちは身を寄せ合い、震えながら空爆が過ぎることをじっと待ちました。

最悪の事態を、なんとか免れることができたものの、戦争自体は激しさを増すばかり。翌年の昭和20年1月には、とうとう夫が出征することになってしまったのです。

駅で夫の出征を見送らなければならなかった私は、涙が



▶春日公園内の平和記念碑

止まりませんでした。でも、決して悟られてはいけないうちに、夫に背を向けたまま送り出すことになってしまったのを覚えています。

その後、終戦を迎えましたが、東京大空襲や長崎、広島への原子爆弾投下などで、多くの人命が失われたと聞き、夫は無事なんだろうかと、言葉にできない不安を抱えながら、帰りを待ち続けました。

「もしかしたら、もう戻らないのかも知れない」と、そんな弱気になっていた、同年9月のこと。私の願いが天に届いたのでしょうか。夫は無事、帰途に着いてくれたのです。

こうして私たち2人は、運よくまたいっしょに暮らすことができたが、知り合いや、日本のいたるところで、

おおぜいの犠牲者が出たことを考えると、すなおに喜ぶことができなかったのも確かです。そして今もなお、心にくさを打ちつけられたような気持ちでいる私は、こんな思いをこれからの人生を歩む子や孫、すべての人たちに絶対に味わってほしくないと思っています。



ふる べ 古部 実咲さん
錦町5丁目・12歳

戦争体験談を聞いて

小学6年生のとき、戦争を体験した人たちから、お話を聞きました。

逃げ込もうとした防空壕に入らなかったことで、逆に空爆に遭わずに済んだお話。戦中は水をたくさん飲んで、おなかをいっぱいにしたお話などを聞いて、私は、戦争のない平和な時代の日本に生まれてきてよかったと思ったのが本音です。

おじいちゃんからも、戦時中の話は聞かされていました。おじいちゃんのお兄さんは、空襲に遭ったまちの人たちを

救いながら、亡くなっていったそうです。

それを聞いて、りっぱな行動だったとは思いましたが、戦争さえなければ、おじいちゃんもお兄さんと死に別れて寂しい思いをしなくて済んだのではないのでしょうか。かわいそうです。

だれの話聞いてても、戦争はとて怖く、つらい思い出しか残さないようです。

これからもずっと平和が続くように、いろいろ教えてもらったことを、私も大人になったらしつかりと、みんなに伝えていきたいと思っています。



さいとう ひさこ 齊藤 久子さん
中央6丁目・79歳

ああ今日は助かった

群馬県ぐんまの太田市おたにあった私の家の近くには、もともと軍事工場や陸軍少年航空隊などが点在し、戦時中は幾度となく空爆を受けました。まるでハチが群れをなして飛び交うように、黒い塊となって戦闘機が攻撃をしかけてくる恐ろしい光景は、今でもはっきりと覚えています。

ときおり、県庁所在地である前橋まへはしや、高崎たかざきの練兵隊を空爆するためにやって来る戦闘機が、まちに向かって低空飛行をすることがありました。外出中であるときは、いちもくさんに道路わきの溝にもぐり、背中を丸めて身を守ったものです。そこへ、操射をしてくる戦



◀ 出征する人を駅で見送る少年たち

闘機「背中を撃たれてしまわないだろうか。爆弾で吹き飛ばされてしまわないだろうか」といった、不安と恐ろしさは、とても表現できるものではありません。爆音が遠ざかり、静けさを取り戻した後、腰が抜けたように、呆然ぼうぜんとその場に座り込む私が、やつとの思いで出せた言葉といえば、「ああ、今日は助かった……」のひと言だけでした。

戦時中の体験はつらい思い出ばかりです。でも、特に忘れられない出来事は、終戦の前日のことです。「東京に向けて敵機来襲」との報を受けたと同時に、家の外を見回すと、夕やみ迫る前方の工場が、焼夷弾の雨で真紅に照らされていました。私たちのまちも、既に標的となっていたのです。

「ヒューヒュー」と、光の尾を引きながら、次から次へと爆弾が投下され、天に舞う火炎とごう音のすさまじさ、地響きと共鳴してガタガタと家屋が震え出しました。

私は地獄のような惨状に耐えかね、近所の防空壕へと避難しました。暗い穴の中で身を固くして耐える心細さ、空腹や恐怖など、さまざまなつらさと戦いながら、空爆が過

ぎることを、ただひたすら待ちました。どのくらいの時間がたったのか分かりませんが、命を落とさずに済んだ私は、身も心もヘトヘトになり、夜明け前の我が家によつとの思いでたどり着きました。

しかしそのとたん、再び空襲警報が鳴り響いたのです。体中に電撃が走ったような恐怖。再び逃げなければならぬ状況に、絶望感のようなものを覚えました。いったい何度の

空襲を受け、避難をしたのか、記憶も定かではありません。繰り返した爆撃がやみ、終戦の報を告げる玉音放送を聞いたのは、昭和20年8月15日のこと。私は体中の力が抜け、命あることに心から感謝をしました。

人はたくさん経験をして強くなるものだとは信じていますが、戦争だけは別です。二度と味わう人が出ないことを祈り続けます。



蔵第一国民学校（現在の北小学校）で戦時中に行われた軍事訓練

ご参加ください「平和の催し」

ここ4、5年は、市内の公民館や児童館、歴史民俗資料館などでこれから開催する催しや、すでに開催している催しを紹介しています。平和の願いがこめられた催しは、戦争体験者のお話や、写真・パネル展、読み聞かせなどです。多くの人のご参加をお待ちしています。



読み聞かせや語る会

●平和の心を知ろう「ちびっ子広場」／2日(木) 午前10時

小学生以上 平和に関する絵本の読み聞かせや紙芝居など。

平和への思いと尊さを受け継いでいきましょう。ところ、

問い合わせ〓東公民館(☎442・4052)

●夢・希望：平和(平和こそ最高の遺産です)／9日(木) 午前11時 40人 ①紙芝居と

もちゃんのおへそ ②童謡を歌う「さとうきび畑」ほか

③パネルシアター「カレーライス」※昼にだご汁などを試食とところ、申し込み〓旭町公

民館(☎442・4053)

●戦争を語る／9日(木) 午後2時 戦争を体験した人のお話を聞きましょう。ところ、

問い合わせ〓福祉・児童センター(☎431・7300)

●平和で豊かな社会を願う市民の集い／4日(土) 午前

9時15分 「平和の母子像」の

清掃活動など ところ〓市民公園 問い合わせ〓東公民館(☎442・4052)

●バイオリンとピアノのコンサート／4日(土) ①平和に

ついてのお話 午後1時15分

②演奏会 午後1時半 曲目

〓「才たけた貴婦人」ほか 対象

〓親子(幼児)・小学生 30人

地球から争い事がなくな

るよう、子どもと平和のたい

せつさを音楽を通じて考えま

しょう。ところ、問い合わせ

〓北町児童館(☎432・2611)

●藤沢声楽合唱団ミュージカル

&合唱「白雪姫」／22日(水) 午後1時半開演 整理券を先

パネル展

着90人に無料配布しています。

小さな子どもにも平和への関心を持ってもらい、平和を願います。ところ、問い合わせ

〓下蔵公民館(☎441・1560)

●戦時中の資料とパネル展／5日まで 「戦前・戦後の学校

や「戦時下の物資不足と代用

品」をテーマにしたパネル22枚と、軍服や防空頭巾など11点を展示。ところ、問い合わせ

〓東公民館(☎442・4052)

●広島・長崎原爆パネル展と

「飢餓ってなあに？」／16日

まで 原爆の恐ろしさを伝え

るパネルのほか、世界では1分

間に17人の人が飢えて亡くな

っている現状をお伝えする飢

餓の資料、約40点を展示。平和

についていっしょに考えてみ

ませんか。ところ、問い合わせ

〓中央公民館(☎432・2530)

●東京大空襲写真展／13日

24日 空爆の被害などを伝え

る写真を約15点展示します。

ところ、問い合わせ〓下蔵公

民館(☎441・1560)



〓すいとの試食(7月・南公民館

情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課(☎433・7703)へ。

仲間になりませんか

▼ダックス友の会(社交ダンス) 月4回水曜日 午後7時 東公民館 月2000円△清水・☎441・6633

▼SKKD研究会(社交ダンス) 月曜日 午後1時半 南公民館 月2000円 新人1か月無料講習あり△平井・☎444・4655

▼金曜社交ダンス 金曜日 午前10時 南町ポンプ場 月2000円△白鳥・☎444・3990

▼実用書道クラブ 第1・3火曜日 午後1時半 下蔵公民館 月2000円(教材費別)△福田・☎443・9122

▼女声合唱団コロダーマ 水曜日 午前10時 中央公民館 月4000円△町田・☎441・2456

▼夏休みちびっ子カンファ教室 月曜日 全4回 午後1時 市民体育館 小学生 3000円(1回体験の場合は1000円)△上原・☎445・2761

▼社交ダンス初心者無料講習会 9月3日・10月22日 午後3時 中央公民館△ミドルダンスクラブ・宮下・☎268・2987

▼子育てサークル・ステップ 楽しく子育て 月3回 午前10時から 午後2時 下蔵・西公民館 月700円△木之下・☎432・1940

▼2007年演奏会 9月2日 午後2時 市民会館コンクレレ

ほっと・エッセイ①

「市民と直接 対話できるすばらしさ」

市長 頼 高 英 雄

皆さん、こんにちは。市長の頼高英雄です。私は、「日本一小さな蕨で日本一市民に温かい市政を」と訴えてきました。

そこで、『広報蕨』の紙面をお借りして、私の思いや感じたことなどをエッセイとして届けさせていたいくことにいたしました。

題名は、温かい蕨を目指す思いをこめて、また、少しはほっとできる話題もほしいとの思いから、

『ほっと・エッセイ』といたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。

私は、日本一小さな市であることを蕨の最大のセールスポイントにしたまづくりを進めたいと考えていますが、そのいちばんのよさが、市民の皆さんと気軽に、直接、お話できることです。

就任から2か月間、福祉関係の催しやスポーツ大会など、市民の

皆さんのさまざまな行事に呼んでいただきました。そうしたなか、初めての市長面会日には、8組20名もの市民の皆さんがお見えになり、また、ひがし生活学校の皆さんが「市長を開くための学習会」を、中央コミュニティ委員会の皆さんが「市長と語る会」という企画を開催していただきました。

どちらも、市民の皆さんと直接話ができる有意義な機会となり、

これが蕨のよさなんだな、と痛感しています。

ぜひ、これからも、声をかけていただければ、どんどんと出かけていきたいと思います。市民みなでつくる「あつたか市政」に向け、がんばってまいります。

お便りお待ちしております

蕨市役所
秘書広報課広報広聴係

〒335-8501 蕨市中央5-14-15
TEL 433-7703 FAX 445-0586
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

「広報蕨」へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。



昭和63年に建立した平和之母子像（市民公園）

平和祈念展

蕨のまちは、昭和20年に3回の空襲を受け、死者50人、全・半壊した家屋は約400戸に上り、埼玉県下では熊谷市に次いで2番目の被害を受けた。

歴史民俗資料館では、こうした戦争という事実を風化させることなく、1人でも多くのかたに戦争の悲劇や平和のたいせつさを伝えていこうと、毎年、夏の企画展は戦争をテーマに開催しています。

今年で18回目となる企画展「平和祈念展」は「戦中・戦後のくらし」です。展示資料は、臨時召集令状や地雷、戦闘機の廃材で作られたジュラルミン製の湯たんぽなど1000点。



当時のこうした写真や新聞などの展示資料を通して、国家総動員や15年戦争時代の記憶をたどります。多くの皆さんのご来館をお待ちしています。

とき 31日まで ※月曜日は休館です 時間 午前9時～午後4時半 ところ 蕨市歴史民俗資料館（〒432・2477）

平和の黙祷

1945年（昭和20年）8月6日午前8時15分に広島市、9日午前11時2分には長崎市に、原爆は投下されました。死者は当時、広島で14万人、長崎市では7万3884人と推定され、今も多くの人が後遺症に苦しんでいます。こうした悲劇が繰り返されぬよう、今年も広島市で6日、長崎市で9日に原爆死没者の追悼と平和への祈りをこめた式典が開かれます。蕨市も平和宣言都市としてこれらの式典に合わせ、6日（月）の午前8時15分と、9日（木）の午前11時2分、9日（木）の午前11時2分から、敬虔な黙祷が捧げられるよう防災行政無線で呼びかけをします。1分間の黙祷を捧げましょう。問い合わせ 総務課（〒433・7705）

ホール 600円 当日券あり
蕨少年少女合唱団 蕨男声合唱団 女声合唱団 Minon 八津久井・〒431・9001
（差上げます）
5月生まれの猫 白黒・茶トラ・サバトラ柄 不妊手術済 届けます 〆笛田・〒431・4441
ベビーバス・歩行器など 8年間使用 取りに来てくれる人 〆吉川・〒433・9955
①和だんす・②シングルベッド（折り畳み式）・③テーブル（1坪×70センチ） ①は2～3年使用 ②・③はほとんど未使用 取りに来てくれる人 〆根本・〒444・4586
〆相談ください
アルコール依存症の自助活動 月曜日 午後7時 中央公民館 お酒をやめたい人 〆セントラルオフィス・〒03・3590・5377
蕨断酒新生会（酒害相談） 7日 〆中央公民館 15日 〆南公民館 23日 〆旭町公民館 午後6時半 〆岡田・〒441・3172

お貸してください 地域のあなたのお力を 放課後子ども教室に

子どもたちが、安心して健やかに活動のできる「放課後子ども教室」が大人気です。でも、それだけに活動を支えてくれるボランティアがもっと必要だそうです。事務局の生涯学習課・滝沢主査に現状を聞きました。

親と子の ニュースの 小窓



2学期には全小中学校で教室がスタート

ワラビ 中央小と南小で、7月から放課後子ども教室が始まったそうですけど、ほかの小中学校にはないんですか？

滝沢 夏休みが明けてから、残りの全小中学校でもスタートしていく予定です。

ワラビ おもしろそうだったら通ってみたいんですけど、どんなことをするんですか？

滝沢 教室では、宿題をするほか、スポーツや遊び、生活の指導や地域の人たちとの交流もあります。

ワラビ いろいろあるんだ。**お母さん** 学校の先生がたが教えてくれるんですか？

滝沢 いいえ。教室の企画や、実際にいろいろなことを教えるのは、地域の人たちで構成

するんです。**お母さん** ボランティアを？

滝沢 ええ。教室が月曜日の午後2時から5時、冬季は4時半までとなっていますので、時間の取れる人が少ないせい

で、なかなか集まらないのが現状です。**お母さん** うちのおじいちゃんを紹介しようか？いつも暇だっけって言うし。

滝沢 それは助かります。**ワラビ** え〜！いいの？

滝沢 もちろんです。中学生以上ならどなたでもだいじょ

趣味や経験を生かしてボランティアを

か、なかなか集まらないのが現状です。**お母さん** うちのおじいちゃんを紹介しようか？いつも暇だっけって言うし。

滝沢 それは助かります。**ワラビ** え〜！いいの？

滝沢 もちろんです。中学生以上ならどなたでもだいじょ

うぶですから。それに、皆さんができることを、できる範囲内でお手伝いしてくださればいいんです。地域の大人と交流することもないですね。

滝沢 強いですから、お話し相手にもな

ってあげてほしいですね。**ワラビ** そういえば！おじいちゃん、囲碁が得意だった。**お母さん** 好きなことが生かせるかもしれないわね。**ワラビ** そうなるといいね。**滝沢** 有償であれば、もっと

よいのでしょうか。**お母さん** いいえ。「お金より生きがい」というのが、おじいちゃん、おばあちゃんのもの。**滝沢** それはよかった。子どもたちの健やかな成長が、私たちの未来も明るくしてくれるものと考えていますから、そのためには、皆さんのお力を放課後子ども教室にお貸しいただきたいと思っています。

問い合わせ〓生涯学習課
(0433・77729)

中央小学校で7月にスタートした放課後子ども教室



わが家のアイドル

-426-



ひろ 宏
あき 哲ちゃん
(3歳9か月)
とし 利
あき 哲ちゃん
(1歳10か月)
わたなべ かずあき
渡辺 一哲さん
り 理恵さんの
二男・三男
錦町2丁目

ま ち の 話 題

「我が家の自慢は、元気な3人の男の子です。小学1年の由哲を年長に、もうすぐ4歳の宏哲(写真右)、そしてもうすぐ2歳の利哲(写真左)は、みんないっしょによく遊んでいます。ときにはけんかをするもありますが、年上の由哲が、食事のときにお皿を運ぶ手伝いをしてくれたり、私が疲れて首を回しているときに肩をたたいてくれたりすると、下の2人もまねして助けてくれます。『男の子3人育てるのはたいへんでしょう』と、よく周りの人に言われますが、お兄ちゃんが弟を助け、弟がお兄ちゃんを慕っている姿は、うれしいですね」と、話す母親の理恵さん。

掲載を希望する人は、秘書広報課(☎433・7703)へ気軽にお申し込みください。

第57回社会を明るくする全国運動強調月間の7月4日、蕨市民会館で蕨・戸田地区推進大会が開かれました。大会は式典に続いて大正大学教授の萩原康生先生の講演もあり、主催者の保護司会会員をはじめ、市民200人が犯罪や非行の防止と、罪を犯した人の更生活動に、地域全体で取り組むことを誓い合いました。

犯罪ない明るい社会を



市内産野菜の真心給食



錦町5丁目にある西小学校で、食べ物をたいせつにする習慣を身につけてほしいと「農産物生産者と児童の交流給食」が7月4日に開かれました。招かれた、市内の農家の皆さん5人は、蕨産の野菜を使った給食を5年生の児童と食べたり、野菜の育て方や苦労話を聞かせたりして、食べ物への感謝の心を伝えていました。

祭りを通じ青少年育成



青少年団体や地域団体、学校クラブなど約20団体が参加したサマーパークフェスティバルが、7月22日、市民会館を主会場に開かれました。子どもたちの合唱や太鼓演奏のほか、各団体の模擬店やゲームコーナー、福祉体験などがあり、訪れた多くの市民が終日楽しむとともに、青少年どうしの交流も深め合いました。

議会で正副議長を選出

かわしまよし のり
川島善徳副議長おかだ えいじ
岡田栄次議長

7月25日、蕨市議会臨時会は議長に岡田栄次氏、副議長に川島善徳氏を選出。岡田氏は平成7年に初当選。4期目。新学生会。総務常任委員会委員長。市議会副議長などを歴任。南町4丁目在住。69歳。川島氏は平成15年に初当選。2期目。新生会。教育まちづくり委員会副委員長。総務常任委員会委員長を歴任。塚越5丁目在住。58歳。

●プレママ講座／妊娠中のママたちへ／とき 10月11日(木) 午後1時半～4時 産婦人科医師による妊娠・出産についてのお話、先輩ママとの交流会 申し込み 電話で保健センター

とき＝毎月1回 水曜日 午前10時～11時半
対象と初回
①平成19年4月生まれの第1子とそのママ(初回は8月1日)
②平成19年5月生まれの第1子とそのママ(初回は9月12日)
＊お子さんの生まれ月により参加を開始していただく月が変わり、4回で修了となります。
＊定員は全部で15組で、コースを修了された人数分(欠員分)のみ新規募集をします。

●エンジョイママクラブ
育児不安のあるママたちのクラブです。

回	とき	内容
	8月	9月
1	3日(月)	妊婦歯科健診・保健
2	10日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
3	15日(土)	お産の経過沐浴実習
時間はいずれも午後1時半～4時		

●両親学級

赤ちゃんメモ

(問) 保健センター
(☎431・5590)

●離乳食講習会
とき 3日(金) 29日(水)
対象 平成19年4月生まれの第1子の保護者
内容 離乳食の進め方と作り方
9月5日(水) 21日(金)
対象 平成19年5月生まれの第1子の保護者
時間＝午前9時45分～11時45分
ところ＝保健センター
託児は可能ですが先着10人までです。
第2子以降の人はご相談ください。
持ち物＝母子健康手帳、筆記用具、赤ちゃんを連れて来る人はバスタオル、ビニール袋(オムツ持ち帰り用) ほか必要な物
※都合のよい1日を選んで事前に申し込みください。

●新生児・産婦訪問指導

とき	対象児	受付時間・ところ
4か月児健診	7日(火) 8日(水)	平成19年生まれ 午後1時15分～2時 保健センター
1歳6か月児健診	21日(火) 22日(水)	平成18年生まれ 午後1時15分～2時 保健センター
3歳児健診	24日(金) 31日(金)	平成16年生まれ 午前10時～10時半 保健センター
4歳6か月児健診	23日(木)	平成15年生まれ 午前10時～10時半 保健センター
1歳児相談	7日(火) 8日(水)	平成18年生まれ 午後1時15分～2時 保健センター

●乳幼児健康診査・相談
持ち物＝母子健康手帳、問診票
※対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

●赤ちゃんとママの健康相談
対象＝赤ちゃんが生まれてから4か月健診の前月まで受けられます。(第2子以降のお子さんでも可)
保健師、助産師による
・赤ちゃんの身体計測
・発育や育児についての相談
・お母さんの産後の相談
※赤ちゃんが生まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)を保健センターまでお送りください。

ひと 輝いていま

蕨中東カンフクラブ講師

藤井 瑠美 さん

8

フル×14のコートの中を伸びやかな姿勢で活

発に動き、俊敏で力強く「拳を打つ」、「ける」、「跳ぶ」などの型の技術を競う武術太極拳。藤井瑠美さん（中央1丁目・24歳）は、そんな武術太極拳の華麗さや奥深さに魅了された1人です。

きっかけはテレビで見た広島アジア大会の武術太極拳。あまりのかわいさよさに、すぐお父さんをお願いして教室を探してもらい、小学6年生のときに習い始めました。

転機は中学3年生のとき。それまでは武術を楽しむ程度でしたが、コーチの勧めもあり、

武術通して子どもの成長見守る



り、競技者として週6日の厳しい練習に取り組みました。

その年のジュニアオリンピックで優勝すると、翌年には日本オリンピック委員会最優秀選手賞を受賞し、オリンピック有望選手認定を受けました。

しかし、順風満帆と思われたやさき、練習中に右ひざのじん帯を断裂。約1年間、つらいハビリを余儀なくされました。そんなとき、彩の国まごころ国体で武術太極拳の会場となった蕨市から、カンフー体操教室の依頼を受けました。市内保育園で出前教室の講師を務めた藤井さん。元気な声でこぶしを突き出したり、足をけり上げたりと奮闘する園児たちとの時間が再起への糧となりました。

子どもに教える楽しさを学んだ藤井さんは、市内小学校の運動会でカンフーの振り付けを担当。昨年はその中の1つ、中央東小で「蕨中東カンフークラブ」を発足し、週1回子どもたちと楽しい汗を流しています。「カンフーを通じて、継続力や一瞬の集中力、そして、個人個人の身体の可能性を広げてあげたい。でも…そんな私はいまだに逆上がりができませんけど」と、はにかんだ笑顔がすてきな藤井さんです。

ぱらっと・わらび・小さな旅

「春日公園」

昭和36年に開園した錦町5丁目の春日公園は、面積2千500平方メートルの敷地に桜やケヤキ、メタセコイアなどが茂る緑豊かな公園です。

公園入口には鳥居があり、70メートルほど進むと、正面には社殿が見えます。この社殿は、春日町の皆さんの鎮守として、昭和23年に建てられました。その社殿の手前右



カナヘビ

6月終わりのある日、市役所前のアスファルトの道を歩く、体長20センチほどのカナヘビを見つけました。全国に広く分布するトカゲの一種です。体長は16〜25センチ。背中はずやのない、褐色のうろこに覆われ、おなかは黄白色です。個体によって長さは違いますが

目の辺りから体の側面にかけ、2本の黒褐色の線に灰褐色の線が挟まれた帯があります。えさは小さな昆虫やクモ。逆に鳥やへびなどにねらわれたときには、体の3分の2ほどを占める、特徴的な長い尾の先を、自分で切って逃げ出します。夏は虫や草花がいきいきとする季節です。外に出て、身の回りにある小さな自然に目を向けてみませんか。

側には、「平和を愛して」と題した平和記念碑があります。昭和20年、蕨は3度にわたる空襲で50人もの人命を失いました。このような悲しい経験を二度と繰り返すことがないよう、平和の尊さを伝えていこうと、戦後50年の節目となる平成7年に市が設置しました。

園内には、子どもたちが楽しむ遊具があるほか、春は満開の桜のお花見、夏は緑の木陰で涼しく納涼大会も開かれるなど、地域の皆さんに親しまれている触れ合いと憩いの場所



わらびの野鳥・虫・草

266